

2023年6月14日

Honda の航空機事業子会社のホンダ エアクラフト カンパニー（本社:米国ノースカロライナ州グリーンズボロ市 取締役社長:山崎 英人）は、現地時間 2023 年 6 月 13 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

新型小型ビジネスジェット機の製品化を決定

Honda の航空機事業子会社であるホンダ エアクラフト カンパニー（Honda Aircraft Company 以下、HACI）は、2021 年に発表したコンセプト機、「HondaJet 2600 Concept」をベースにした新型小型ビジネスジェット機の 2028 年に向けた製品化を決定しました。



新型小型ビジネスジェット機（飛行イメージ）

HACI は 2021 年にネバダ州ラスベガスにて開催された世界最大のビジネス航空機ショー、ナショナル ビジネス アビエーション アソシエーション（NBAA）にて、新たな移動の価値をもたらす小型ビジネスジェットコンセプト機として HondaJet 2600 Concept を発表し参考展示しました。その後、お客様から高い評価を得るとともに市場におけるニーズの高さを確信したことから、このたび製品化を決定しました。また、この決定に伴い、エンジン、アビオニクス、胴体などの主要サプライヤーとの契約を締結しました。新型小型ビジネスジェット機は、HACI として現在生産・販売しているベリーライトジェット機の HondaJet Elite II に続く製品となり、1 クラス上のライトジェット機カテゴリーへの参入となります。2028 年ごろのアメリカ連邦航空局（FAA）の型式証明取得に向け、今後開発を進めていきます。

新型小型ビジネスジェット機は、Honda 独自の技術である主翼上面エンジン配置、自然層流翼型・ノーズ、コンポジット胴体をさらに進化させたことで、最大 11 名の乗員・乗客が搭乗できます。また、通常のライトジェット機^{※1}より 20%、中型ジェット機^{※2}に対しては 40%^{※3}以上燃費を向上させることで、ライトジェット機として世界で初めてノンストップでのアメリカ大陸横断を可能とします。さらに、パイロット 1 名での運用を想定しているほか、長距離飛行にも適した広いキャビン空間と優れた静粛性も実現します。

※1 最大離陸重量が 12,500 ポンド以上、20,000 ポンド以下の双発エンジンを搭載した機体。HondaJet Elite II（ベリーライトジェット）の一つ上のクラス

※2 最大離陸重量が 20,000 ポンド以上、35,000 ポンド以下の双発エンジンを搭載した機体

※3 ニューヨークーロサンゼルス間の飛行距離

■ホンダ エアクラフト カンパニー取締役社長 山崎 英人のコメント

「新型小型ビジネスジェット機の製品化によるライトジェット機カテゴリーへの参入は Honda の新領域である『空のモビリティ』への新たなチャレンジです。これまでに培ってきた Honda 独自の航空機向け先進技術のノウハウを生かし、持続可能な社会の実現と人々の生活の可能性を拡げる喜びを提供していきたいと思えます」

【新型ビジネスジェット機の仕様】

エンジン	Williams FJ44-4C
アビオニクス	Garmin G3000
最大定員	乗員 1 名+乗客 10 名 または 乗員 2 名+乗客 9 名
航続距離 (NBAA IFR Range, 1 乗員+4 乗客)*	2,625 ノーティカルマイル
最大巡航速度*	450 ノット
最大運用高度*	47,000 フィート

* 目標性能

【ホンダ エアクラフト カンパニー (Honda Aircraft Company, LLC) 概要】

設 立：2006 年 8 月

出資形態：American Honda Motor Co., Inc. 100%出資

代 表 者：取締役社長 山崎 英人 (やまさき ひでと)

所 在 地：米国ノースカロライナ州グリーンズボロ市